

日本車と変わらない快適さを
直輸入車で実現させます

佐藤栄記 メカニック



テスターや各種コード、ターミナルなどが整理された工具棚は、なるほど電気屋さんのそれだ。



電装系を専門とする佐藤氏のブースには、テスターやハンダゴテなど、自作をふくむ工具が並ぶ。



世界のクルマの特殊工具も完備。写真はアメリカ車の冷却ホースを交換するための専用工具という。



工場内には重整備まで可能な設備が揃う。必要とあればエンジンのオーバーホールまで可能だ。

あらゆるクルマを扱ってきた
経験が武器なんです

柳下遼太郎 整備部長



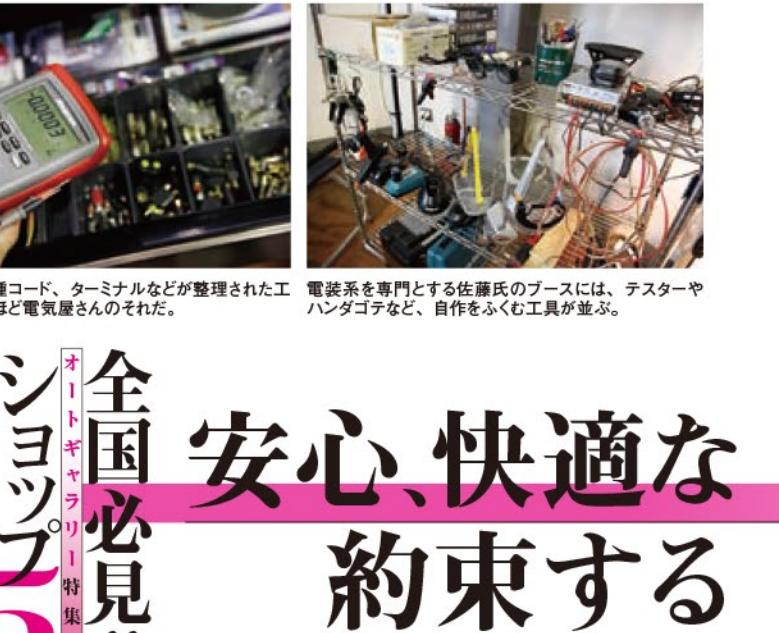
ショット5傑 全国必見!! 安心、快適な 約束する

オートギャラリーグループ
ショットギャラリー特集

直輸入車ライフを スペシャリストたち



インパネ内の配線をこごみながら
さばく。逆輸入車への電動格納
ドアミラー搭載なども可能だ。



ほかではできない技術で
電装品をインストール



大型のハマーも扱えるリフトを完備。世界中のクルマの修理、整備、カスタマイズを手がける。

オートギャラリーグループには、世界から直輸入したあらゆるクルマが入荷してくる。それらの国内法規への適合や購入後のメンテナンス、ドレスアップまで自社で手がける工場が、横浜市瀬谷区にあるテクニカルセンターだ。

「当社では、前身となる会社の時代から、あらゆる年式、モデルを扱ってきました。その経験が財産になっているんです」と、柳下遼

太郎整備部長は語る。

入社9年目の柳下氏は、メルセデスやボルシェ、アメリカ車にボルボ、ベントレー、マセラティまで、輸入車ひと筋にありとあらゆるクルマを整備してきたという。それだけ幅広いクルマを扱うと、国ごとの個性も違えば、弱点やクルマを整備してきたという。見たこともないクルマを扱うときにはわからないことも多いけれど、ディーラーも本国の拠点などからも情報を取り入れながら、ひとつ学んできたことが、すべて身につながっているんですね」

だから彼にとっては、ディーラー車でも並行車でも関係なし。

「先代メルセデスEクラスとクライスラー300Cではどこに同じ部品が使われているとか、ひとつ車種だけを扱っていてはわからないノウハウもあるんですよ」

並行輸入車では部品が手に入らぬこともあります

「他店で購入して直せなかつたり、高額な見積もりになつたりしても、安い海外の部品を使うこと

可能。正規モデルであつても、リーズナブルな維持にもつながるのだという。

「駆け込んでくるお客様も多いですからね。もちろん、困つたら遠慮なくご相談ください」

経験豊富な柳下氏が控える工場は、オートギャラリーオーの信頼を支える太い屋台骨なのだ。



GPSカーナビを世界に先駆けて実用化し、普及させたのは日本。それだけに、日本車のナビの装着率は群を抜き、今や輸入車にも、バックモニターを始めとする運転支援システムをふくめた多機能ナビの搭載が常識化しつつある。

そのまま日本で使えることはまことに、日本語表示がなければ、必要だし、日本語表示がなければ、車のシステムを直すことはま

り外してしまうと、時計などの他の機能まで使えなくなってしまう

んです。そこで、純正ナビの本体をインパネ内部に移動して残したまま、日本製のナビを本来のモニター位置に装着するといった工夫も必要になるんです」

「ある高級車は、純正のナビを取外してしまった時計などの他の機能まで使えなくなってしまうんです。そこで、純正ナビの本体をインパネ内部に移動して残したまま、日本製のナビを本来のモニター位置に装着するといった工夫も必要になるんです」

「ナビの書き換えは、クルマ屋というより電気屋さんの仕事に近いですね」と佐藤氏は笑う。 「ナビの書き換えも、それが通用しないモデルもあるという。」

使い方がわからぬ機能も多い。しかし、オートギャラリーの直輸入車を購入するユーザーが、そうした不便を感じることはなく、テクニカルセンターの佐藤栄記氏が、日本車と同様の機能をインストールしてくれるからだ。

「だからすべての技術を独学で開発するしかないのがツラいんです。失敗して壊したら50万円近くになってしまふよなから、他の店ではやりたありますから、他の店ではやりたがらないのも当然でしょう」

佐藤氏自身、電装品担当として入社当時は恐る恐るはじめていたという。しかし、今はほかではできない仕事を楽しんでいる。「電気は目に見えないけれど、だからこそ面白いんです」という彼の技術が、オーナーの快適な直輸入ライフを支えているのだ。

AUTO GALLERY TECHNICAL CENTER



045-924-4655

住所:神奈川県横浜市瀬谷区目黒町39-4
営業時間:10時~20時 火曜定休
HP: <http://www.autogallery.jp/>

アメリカ車からメルセデスやボルシェなどの欧州車、逆輸入国産車まで、あらゆるクルマを扱うオートギャラリーの整備部門。整備部門ではエンジンのオーバーホールなどの重整備もOK。カスタムカーの製作も手がける。電装部門は灯火類の日本法規適合やナビのインストールなどを担当。スマートキーやサイドカメラなどをセットにしたAGパッケージも好評だ。